



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月31日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL https://www.daido.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 岩本 順司 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	269,643	11.8	16,752	△10.5	17,569	△4.1	10,759	△9.5
2018年3月期第2四半期	241,119	13.2	18,726	94.2	18,320	103.0	11,890	121.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 11,694百万円(△39.3%) 2018年3月期第2四半期 19,251百万円(489.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	252.38	—
2018年3月期第2四半期	278.88	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	661,998	324,433	44.1
2018年3月期	642,021	316,409	44.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 291,948百万円 2018年3月期 284,435百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期については、遡及適用後の数値を記載しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	6.00	—	60.00	—
2019年3月期	—	65.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しています。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は120円となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	551,000	9.1	35,000	△3.4	36,000	△0.4	22,000	△8.0	516.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期2Q	43,448,769株	2018年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	818,459株	2018年3月期	817,706株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期2Q	42,630,727株	2018年3月期2Q	42,634,986株

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

2. 「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直しており、企業に関しても海外景気の緩やかな回復等を背景に鉱工業生産が増加するなど、緩やかな回復基調が継続しました。欧米でも、雇用拡大を背景に緩やかな景気拡大が続きました。中国は輸出の増加により景気の持ち直しの動きが続きました。

このような経済環境の中、自動車産業は好調が継続し、受注は高位で推移しました。加えて産業機械向け需要が旺盛であり、鋼材売上数量は増加しました。原料・資材関係では、鉄屑価格は国内需要が旺盛であったこと、合金関係も世界経済の堅調さを背景に前年同期よりも高値で推移しました。また、製鋼工程で使用する黒鉛電極等副資材価格が高騰し、コストアップとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、数量増加および販売価格の上昇により前年同期比285億24百万円増収の2,696億43百万円となりました。経常利益につきましては、副資材価格の高騰によるコストアップを受け、前年同期比7億50百万円減益の175億69百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11億31百万円減益の107億59百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、自動車関連需要が高位で推移したこと、産業機械向けの需要も旺盛であったことから前年同期比で数量が増加しました。工具鋼も、自動車業界の堅調さ等を受け前年同期比で数量が増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需要が旺盛であったため前年同期比で上昇しました。製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も上昇し、コストアップとなりました。販売価格は原料・副資材価格の上昇を反映し前年同期比で上昇しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は数量増・販売価格上昇により前年同期比12.9%増加の1,020億48百万円、営業利益は副資材価格等のコストアップが響き、前年同期比26億48百万円減益の21億38百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼・高合金は、自動車の燃費改善に向けた動きの中で需要が増しており、数量は前年同期比で増加しました。磁石製品は、ハイブリッドカーの駆動用モーター向けが増加しました。粉末製品は、海外需要が回復したこと等により数量が増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は数量増・販売価格上昇により前年同期比14.3%増加の926億60百万円、営業利益は数量増、内容構成良化等が寄与し前年同期比6億23百万円増益の114億1百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、航空機関連需要が堅調に推移したことや、原油価格の上昇を受けてオイル&ガス向けの需要が持ち直してきたこと等により、売上高は前年同期比で増加しました。型鍛造品・エンジンバルブ部品は、自動車生産の好調さから、売上高は前年同期比で増加しました。精密鍛造品は、ターボ関連製品の需要拡大が継続し、売上高は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、主に数量増が寄与し前年同期比7.1%増加の554億26百万円、営業利益は副資材価格の上昇等の影響を受け前年同期比30百万円減益の11億34百万円となりました。

④エンジニアリング

企業の設備投資が好調であったことを受け、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比20.8%増加の126億52百万円、営業利益は前年同期比78百万円増益の7億53百万円となりました。

⑤流通・サービス

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.5%減少の68億56百万円となりました。営業利益は前年同期比13百万円増益の13億36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ199億76百万円増加し6,619億98百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「たな卸資産」の増加153億58百万円、「有形固定資産」の増加72億37百万円、減少の主な内訳は、「投資有価証券」の減少21億81百万円であります。

「たな卸資産」は、旺盛な需要に対応する適正在庫確保等により前期末対比で増加しました。「有形固定資産」は、新規連結等により増加しました。なお、設備投資については、特殊鋼鋼材等既存事業の収益基盤強化および成長分野、新規事業への戦略投資を厳選して実施しております。「投資有価証券」は、新規連結に伴う関係会社株式の減少等により減少しました。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ80億24百万円増加し3,244億33百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益107億59百万円の計上等による「利益剰余金」の増加75億81百万円であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、米国をはじめ先進国は雇用環境の堅調さから緩やかな成長が継続すると見込まれます。中国も不動産価格や過剰債務の問題などが顕在化するリスクはあるものの、政府の政策等により比較的安定した成長が見込まれます。これを受けて需要面では引き続き数量高位が継続すると見込んでおります。ただし、米中間での貿易摩擦が今後世界経済に悪影響を及ぼす可能性があり、今後の動向は注視していく必要があります。

一方、原材料となる鉄屑価格は高位であり、製造に使用する黒鉛電極をはじめとした副資材、エネルギー価格は上期よりも上昇してまいります。引き続き販売価格への適切な転嫁に向けたお客様との対話を進めてまいります。

このような経営環境の中、当社グループは、中期経営計画での諸施策を着実に実施してまいります。ポートフォリオ改革、事業基盤の強化、事業の再構築を進め、中長期的な成長を目指した取り組みを進めてまいります。それとともに、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化にも対応してまいります。

当期の連結業績につきましては、当第2四半期累計期間の業績および最新の受注動向、原燃料市況等を反映させ、前回(2018年4月27日)公表した業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,167	41,595
受取手形及び売掛金	121,334	119,066
電子記録債権	12,817	14,373
たな卸資産	115,064	130,422
その他	5,988	6,553
貸倒引当金	△64	△68
流動資産合計	297,307	311,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	77,023	79,671
機械装置及び運搬具（純額）	87,729	92,099
その他（純額）	47,275	47,495
有形固定資産合計	212,029	219,266
無形固定資産		
1,697	1,697	1,524
投資その他の資産		
投資有価証券	104,241	102,059
退職給付に係る資産	19,138	19,281
その他	7,693	8,008
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	130,988	129,264
固定資産合計	344,714	350,056
資産合計	642,021	661,998

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,318	53,354
電子記録債務	36,062	40,082
短期借入金	80,804	102,290
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	7,447	5,040
賞与引当金	7,743	7,678
その他の引当金	1,279	1,445
その他	24,483	20,208
流動負債合計	212,138	240,100
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	58,690	51,881
その他の引当金	3,888	3,461
退職給付に係る負債	9,642	9,976
その他	21,251	22,144
固定負債合計	113,472	97,463
負債合計	325,611	337,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,337	30,337
利益剰余金	187,799	195,380
自己株式	△3,644	△3,647
株主資本合計	251,664	259,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,497	28,132
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	1,805	1,805
為替換算調整勘定	1,755	1,145
退職給付に係る調整累計額	1,712	1,623
その他の包括利益累計額合計	32,770	32,705
非支配株主持分	31,974	32,485
純資産合計	316,409	324,433
負債純資産合計	642,021	661,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	241,119	269,643
売上原価	194,627	224,284
売上総利益	46,491	45,358
販売費及び一般管理費	27,765	28,606
営業利益	18,726	16,752
営業外収益		
受取利息	76	91
受取配当金	832	975
持分法による投資利益	524	520
その他	624	791
営業外収益合計	2,057	2,377
営業外費用		
支払利息	479	481
固定資産除却損	497	309
為替差損	25	255
環境対策引当金繰入額	541	64
環境対策費	507	—
その他	412	448
営業外費用合計	2,464	1,560
経常利益	18,320	17,569
特別利益		
投資有価証券売却益	—	28
固定資産売却益	738	—
特別利益合計	738	28
特別損失		
投資有価証券売却損	—	27
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	7	27
税金等調整前四半期純利益	19,051	17,570
法人税、住民税及び事業税	5,909	5,614
法人税等調整額	△330	79
法人税等合計	5,579	5,694
四半期純利益	13,472	11,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,582	1,116
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,890	10,759

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	13,472	11,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,372	648
繰延ヘッジ損益	△7	△1
為替換算調整勘定	△171	△769
退職給付に係る調整額	543	△55
持分法適用会社に対する持分相当額	41	△3
その他の包括利益合計	5,778	△181
四半期包括利益	19,251	11,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,600	10,667
非支配株主に係る四半期包括利益	1,650	1,027

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,051	17,570
減価償却費	10,023	11,453
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△123	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	129	△56
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△109	△261
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	512	△299
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	327	448
受取利息及び受取配当金	△908	△1,066
支払利息	479	481
為替差損益 (△は益)	△1	△60
持分法による投資損益 (△は益)	△524	△520
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△753	△25
有形固定資産除却損	518	337
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,754	712
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,661	△15,048
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,665	2,899
その他	2,811	944
小計	20,689	17,515
利息及び配当金の受取額	1,085	1,249
利息の支払額	△478	△479
法人税等の支払額	△4,624	△7,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,672	10,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△560	△251
定期預金の払戻による収入	281	1,000
有形固定資産の取得による支出	△14,246	△20,919
有形固定資産の売却による収入	1,142	76
投資有価証券の取得による支出	△8	△339
投資有価証券の売却による収入	2	69
貸付けによる支出	△106	△150
貸付金の回収による収入	172	60
その他	△44	569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,368	△19,884

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,882	12,877
長期借入れによる収入	8,000	4,721
長期借入金の返済による支出	△8,691	△5,256
自己株式の取得による支出	△6	△3
子会社の自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△2,555	△2,557
非支配株主への配当金の支払額	△267	△372
その他	△247	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,112	9,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	△57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,421	△284
現金及び現金同等物の期首残高	33,685	40,259
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	441	485
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,549	40,459

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、FUJI 00ZX MEXICO, S. A. DE C.V.およびPT. FUJI 00ZX INDONESIAは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	90,349	81,068	51,733	10,471	7,496	241,119	—	241,119
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	30,741	7,021	10,042	1,060	5,647	54,513	△54,513	—
計	121,090	88,090	61,775	11,532	13,143	295,632	△54,513	241,119
セグメント利益	4,786	10,777	1,165	675	1,322	18,728	△1	18,726

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	102,048	92,660	55,426	12,652	6,856	269,643	—	269,643
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	36,874	9,149	14,063	1,101	6,023	67,212	△67,212	—
計	138,922	101,809	69,489	13,753	12,879	336,856	△67,212	269,643
セグメント利益	2,138	11,401	1,134	753	1,336	16,764	△11	16,752

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2018年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2018年9月 第2四半期	前年同期差 増減額
特殊鋼鋼材	102,048	11,698 (12.9%)	2,138	-2,648
機能材料・磁性材料	92,660	11,591 (14.3%)	11,401	623
自動車・産業機械部品	55,426	3,692 (7.1%)	1,134	-30
エンジニアリング	12,652	2,180 (20.8%)	753	78
流通・サービス	6,856	-639 (-8.5%)	1,336	13
調整	—	—	△11	-10
計	269,643	28,524 (11.8%)	16,752	-1,974

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2018年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
売上高	269,643	28,524 (11.8%)
営業利益	16,752	-1,974 (-10.5%)
営業外損益	817	1,224
経常利益	17,569	-750 (-4.1%)
特別損益	0	-731
税引前純利益	17,570	-1,481
法人税等	5,694	115
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,116	-465
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,759	-1,131 (-9.5%)

(鋼材売上数量(単体) 673千t、前年同期差 23千t増)

(3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格は正	101	1. 原燃料等市況	147
2. 販売数量増加	29	2. 固定費の増加	12
3. 内容構成差他	9		
4. 変動費の改善	1		
5. 営業外損益	12		
計(a)	152	計(b)	159
		差引(a) - (b)	-7

(参考：原料・為替市況)

	2017年9月 第2四半期	2018年9月 第2四半期
H2 建値 (千円/t)	22.3	29.9
ニッケル(LME) (\$/1b)	4.5	6.3
為替レート(TTM) (円/\$)	111.1	110.7

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2018年 3月末	当第2四半期 2018年 9月末	増減	科目	前期 2018年 3月末	当第2四半期 2018年 9月末	増減
流動資産	297,307	311,941	14,634	負債	325,611	337,564	11,952
現預金	42,167	41,595	-572	営業債務	90,381	93,437	3,056
営業債権	134,152	133,439	-712	有利子負債	160,352	174,928	14,575
たな卸資産	115,064	130,422	15,358	その他	74,877	69,198	-5,679
その他	5,923	6,484	561				
固定資産	344,714	350,056	5,341	純資産	316,409	324,433	8,024
有形固定資産	212,029	219,266	7,237	株主資本	251,664	259,242	7,577
無形固定資産	1,697	1,524	-172	その他の包括利益 累計額	32,770	32,705	-64
投資その他の資産	130,988	129,264	-1,723	非支配株主持分	31,974	32,485	510
資産合計	642,021	661,998	19,976	負債純資産合計	642,021	661,998	19,976

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期の数値は、遡及適用後の数値を記載しています。

(5) 予想セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	予想 2019年 3月期	前期差 増減額 (増減率)	予想 2019年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	208,000	21,164 (11.3%)	4,000	-2,478
機能材料・磁性材料	187,000	16,212 (9.5%)	23,500	1,304
自動車・産業機械部品	115,000	8,710 (8.2%)	3,500	429
エンジニアリング	27,000	2,135 (8.6%)	1,500	-335
流通・サービス	14,000	-2,442 (-14.9%)	2,500	-186
調整	—	—	—	48
計	551,000	45,780 (9.1%)	35,000	-1,218

(鋼材売上数量(単体) 1,361千t、前期差 50千t増)

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 2019年 3月期	前期差 増減額 (増減率)
売上高	551,000	45,780 (9.1%)
営業利益	35,000	-1,218 (-3.4%)
経常利益	36,000	-130 (-0.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	22,000	-1,920 (-8.0%)

(7) 予想経常利益増減要因(前期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格是正	221	1. 原燃料等市況	276
2. 販売数量増加	50	2. 固定費の増加	25
3. 内容構成差他	11		
4. 変動費の改善	7		
5. 営業外損益	11		
計(a)	300	計(b)	301
		差引(a) - (b)	-1

(参考：原料・為替市況)

	前期 2018年3月期	予想 2019年3月期
H2建値 (千円/t)	26.1	29.9
ニッケル(LME) (\$/1b)	5.1	6.4
為替レート(TTM) (円/\$)	110.9	110.4

(8) 設備投資額(工事ベース)および減価償却費

(単位：百万円)

	前期(2018年3月期)		当期(2019年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	14,899	35,605	15,027	35,400	128	-205
減価償却費	10,023	20,740	11,453	23,100	1,430	2,359

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想 2019年3月期
	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	
売上高	483,633	460,577	445,122	505,219	551,000
営業利益	20,408	24,432	25,513	36,218	35,000
経常利益	21,729	25,108	26,373	36,130	36,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,886	6,746	16,386	23,920	22,000